



Ver.4 新機能

CADPAC-CIVIL Ver.4の新機能を、Ver.3.0との比較でまとめます。

Ver.4 新機能

Ver.4.0.新機能

01.新規名変保存

ファイル名で、バインダー属性や図面属性に、図番や表題が入力されている場合、直接参照しファイル名に取り込むことが可能になりました。【ファイル/ 新規名変保存】



新規名変保存コマンドの中で、CADPACのすべての拡張子へ保存することができるようにしました。これにともないプルダウンメニューが変更になりました。【ファイル/ 新規名変保存】



02.保存関連
プルダウンメニュー

新規名変保存コマンドですべての拡張子対応したことにより保存関係のプルダウンメニューを整理しました。
バインダーで複数枚の図面シートから1枚の図面を単図面として保存する場合は、【シート抽出保存】で行います。



Ver.5.0のプルダウンメニュー

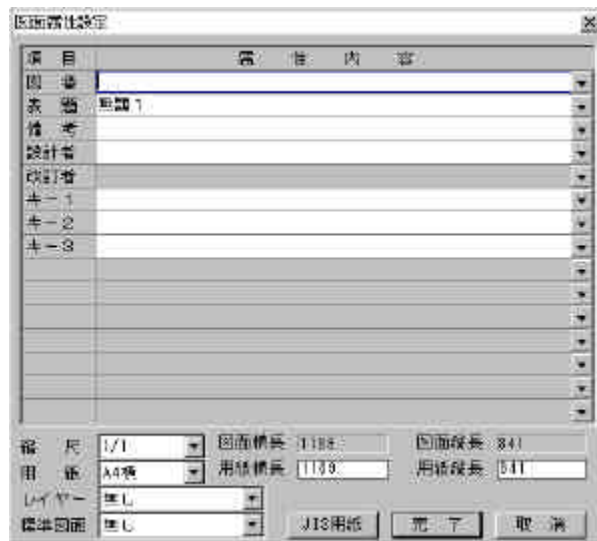
Ver.5.1のプルダウンメニュー

03.新規図面定義

図番、表題、備考、設計者名で入力できる文字数を拡張しました。キー1~3は従来のままです。
キー4~10としてユーザー定義属性を増やしました。図面属性を参照してください。旧バージョンで読込、上書きも可能です。

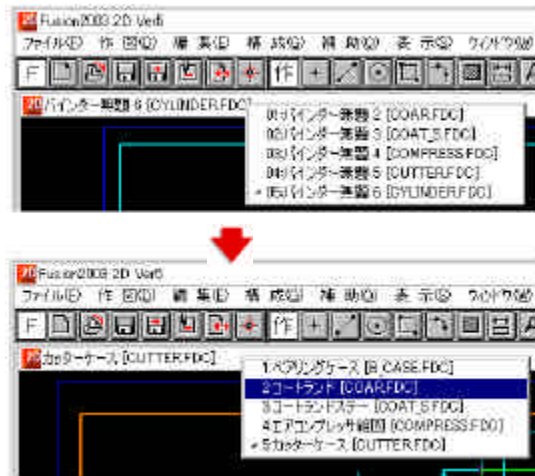
【ファイル/ 新規図面定義】

図番	... 全角15文字 (半角31文字)	
表題	... 全角127文字 (半角255文字)	拡張
備考	... 全角127文字 (半角255文字)	拡張
設計者名	... 全角127文字 (半角255文字)	拡張
改訂者名	... 全角127文字 (半角255文字)	拡張
キー1~3	... 全角15文字 (半角31文字)	
キー4~10	... 無制限	新規追加



04. ウィンドウタイトルバーの表示内容

既存図面から、1枚の図面だけを開いた場合、ウィンドウタイトルバーでバインダー名称の表示をやめて、表題を表示するように変更しました。
また、100枚以上の図面を開くと、ウィンドウタイトルバーの図面リストがソートの関係で順番がくずれるのを改善しました。



05. 開く

文字バッファの制限をクリアし、一度に読み込める枚数を増やしました。Ver.5.0までは、深い階層のディレクトリにある図面を数十枚開こうとすると、一度にすべてが開けない場合がありました。

【ファイル/開く】

06. CSB計測参照 連続

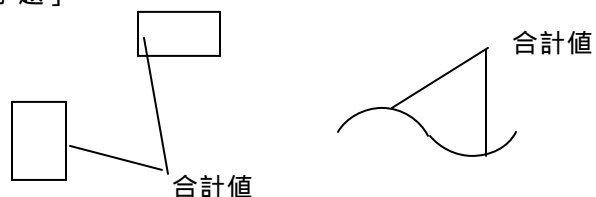
CSBの「長さ」系の参照機能で、要素長（連続）を追加しました。要素を複数指定し、その合計長を長さとして取り込むことが可能です。対象となる要素は、線分、円、円弧、楕円、楕円弧、スプラインです。離れている要素を指定することも可能です。



【操作】

1. 要素長（連続）を選択
2. 要素を指定
3. 終了は、マウス右ボタン
4. 計測値をCSBに取り込みます。

【例題】



07.線スタイル

線スタイルに名前を付けて保存と呼出ができるようにしました。
【基本操作4 / 線スタイル設定】

08.ズームインアウト
CTRL + マウスホイール

CTRL + マウスホイールボタンでズームインアウトを行う時、常にウインドウの中央だった表示基点を、マウス位置に改めました。
【表示 / ズーム】

09.手のひらスクロール
ルーペ内

ルーペウインドウ内での手のひらスクロールに対応しました。
【表示 / ルーペ】

10.右パネルのヘルプ

右パネルの各省ウインドウタイトル 部分をマウス右ボタンでクリックすると表示されるポップアップメニューにヘルプを追加しました。



11.GET&PUT

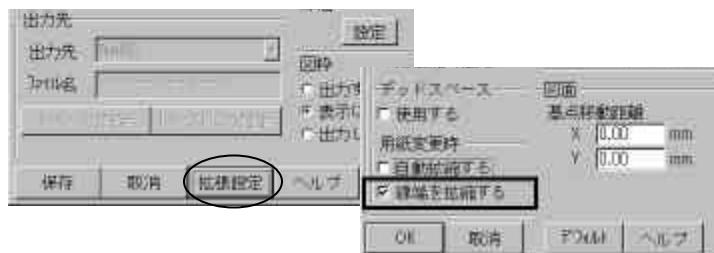
GET&PUT 中に、拡大やズームなどの表示割り込みが入っても GET&PUTが継続できるようになりました。
【基本操作4 / 線スタイル属性取込】

12.オブジェクトコマンド
文字系

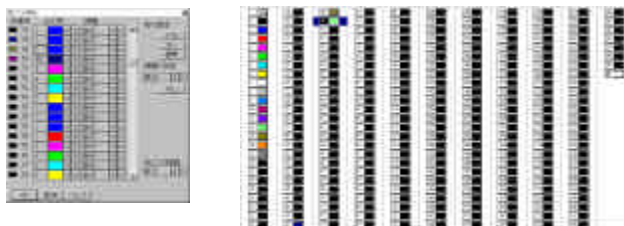
オブジェクトコマンドで、文字を指定した場合、指定した文字列が漢字を使っているか、アルファベット/数字かを判定し、自動的に文字入力モードを切り替えるようにしました。

13. 出図

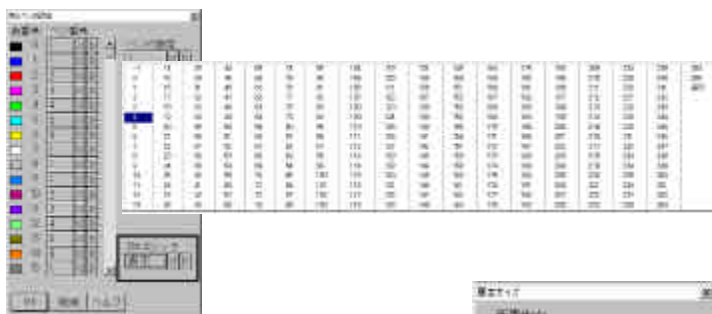
線端のサイズを、連続出力のように用紙サイズにより自動的にサイズ変更する機能を追加しました。
出図/環境設定/拡張設定のダイアログボックスで指定します。



ユーザー定義色を他のユーザー定義色で出図できるようにしました。出図の色設定から、変更したい色のボックスをマウス右ボタンでクリックします。色彩の一覧が表示されますので、出力色に指定したい色をクリックします。



DAゴシックをHP-GL2で出力する際に、文字の太さを別に設定できるようにしました。ペン番号のダイアログボックスを開き【DAゴシック】により変更します。【表示】の部分をマウス右ボタンでクリックすると、一覧が表示されます。

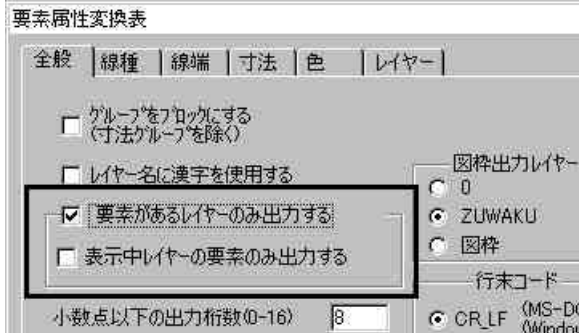


上方四角の線端の上部の線幅を個別に指定する機能を追加しました。



14.DXF/DWG

変換時に、レイヤー表示オンオフに対応しました。
出力時に、レイヤーオフの要素を出力しない設定を追加しました。
寸法をイメージで出力する際、グループ化して出力するようにしま



15.JWC出力

寸法線端の黒丸を点で出力できる設定を追加しました。
【ファイル/外部出力/JWC】

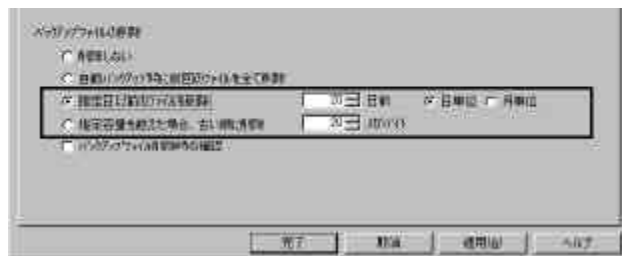


16.SXF P21一括出力

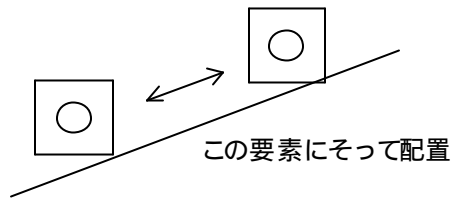
一括出力で、SXFフォーマットのP21ファイル形式を追加しました。
【ファイル/外部出力/J一括】

17.自動バックアップ

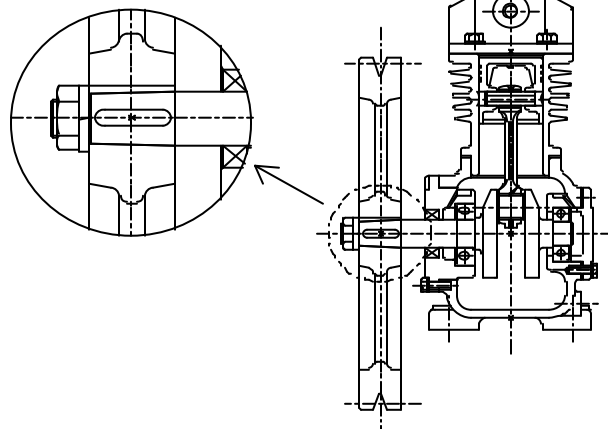
以前のバックアップファイルを、日時/ディスク容量指定で削除できる設定を追加しました。【補助/システム設定/自動バックアップ】



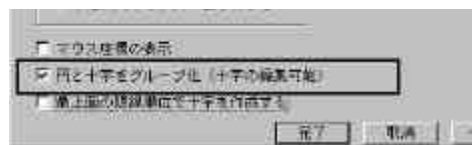
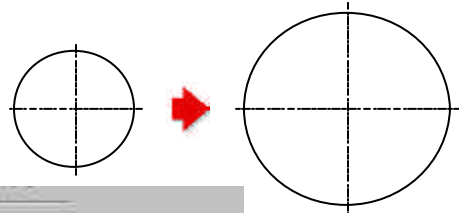
- 18.移動/複写の要素配置 移動と複写コマンドに、要素上によって移動/複写する要素配置ボタンを追加しました。法線配置はありません。
【編集/複写】【編集/移動】



- 19.切取り複写の円形枠 切取り複写コマンドの枠選択方法に、円形が追加されました。円形で任意の要素を切り取り、複写することができます。機械オプションでは、この機能を応用した部分拡大図が新コマンドで追加されました。
【編集/複写/切取り複写】



- 20.円コマンド 中心線付き円をグループ化できるようにし、編集ボタンで円のサイズを変更した際に、中心線も追従するようにしました。
【作図/曲線/円】



21.注 釈コマンド

折れ点1回で方向指定モードを追加しました。
 線スタイルでチェックボタンを追加し、固定の線スタイルと右パネル属性の線スタイルを使い分けることが可能になりました。
 隠線最上位で作図するチェックを追加しました。(既出)
【作図/文字/注釈】



22.バルーン

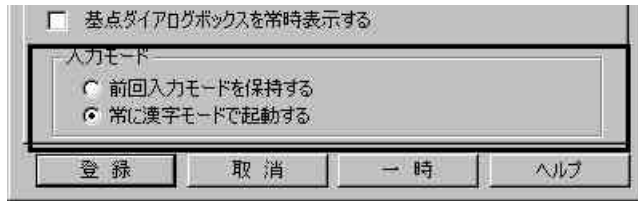
折れ点1回で方向指定モードを追加しました。
 線スタイルでチェックボタンを追加し、固定の線スタイルと右パネル属性の線スタイルを使い分けることが可能になりました。
 隠線最上位で作図するチェックを追加しました。(既出)
【作図/文字/バルーン】



23.文字コマンド

文字コマンドの設定に、入力モードとして前回値と漢字固定を選択できるようにしました。

【作図/文字/文字】



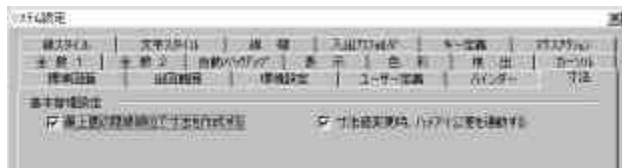
24.システム設定/寸法設定

補助/システム設定/寸法を追加しました。

寸法の隠線最上位で作図するかどうかのチェック。

変形コマンドなどにより寸法値が変更される状態となった時、ハメアイ公差を連動するかしないかどうかのチェック。

【補助/システム設定/寸法】

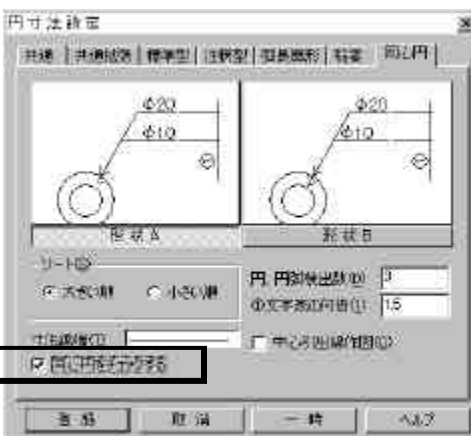
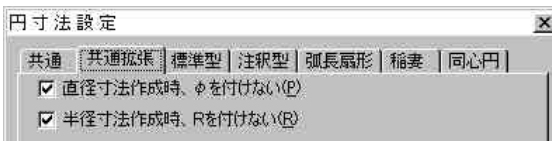


25.円寸法

直径寸法で、 ϕ を付けない設定の場合、注釈型など従来付いていたモードに適用する拡張設定を追加しました。

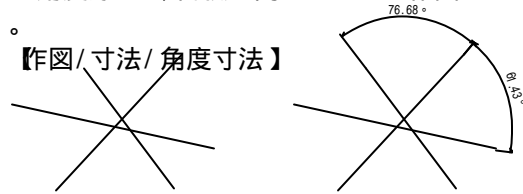
半径寸法で、Rを付けない拡張設定を追加しました。

同心円がある場合、同心円をチェックするかどうかの設定を同心円に追加しました。【作図/文字/文字】



26.角度寸法

角度寸法で、[連続ボタン]が押された場合、交点が一致しない角度線でも、円弧の高さをそろえて作図できるようにしました。



27.寸法変更コマンド分岐

寸法変更コマンドの分岐として、矢線高変更 (Q801END)、引出線追加 (Q802END)、引出線変更 (Q803END) をあらたに追加しました。短縮キー登録も可能になります。

【作図/寸法/寸法変更】【補助/システム設定/キー定義】

28.丸面コマンド分岐

丸面コマンドの分岐として、丸面編集 (Q503END) をあらたに追加しました。短縮キー登録も可能になります。

【作図/角処理/丸面】【補助/システム設定/キー定義】

29.線円スタイルコマンド分岐

線円スタイルコマンドの分岐として、色彩変更 (Q641END)、線種変更 (Q642END)、線幅変更 (Q643END)、線端変更 (Q644END) をあらたに追加しました。短縮キー登録も可能になります。

【作図/角処理/丸面】【補助/システム設定/キー定義】

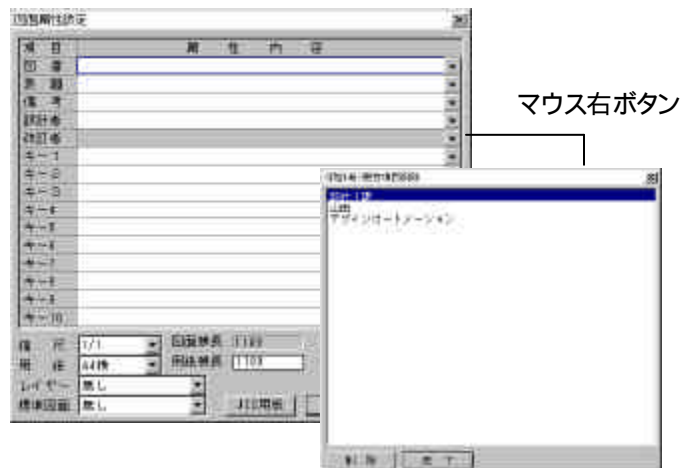
30. 図面属性

図面属性で従来のキー1～3に追加し、ユーザーが項目名を自由に付加することができるユーザー定義属性をキー4～10まで追加しました。バインダーおよび、部品属性は従来通りです。



- ・ユーザー定義属性として入力できる文字数は無制限です。任意の文字列にハイパーリンクを設定することができます。
- ・ユーザー定義属性は、図面単位で保持されます。

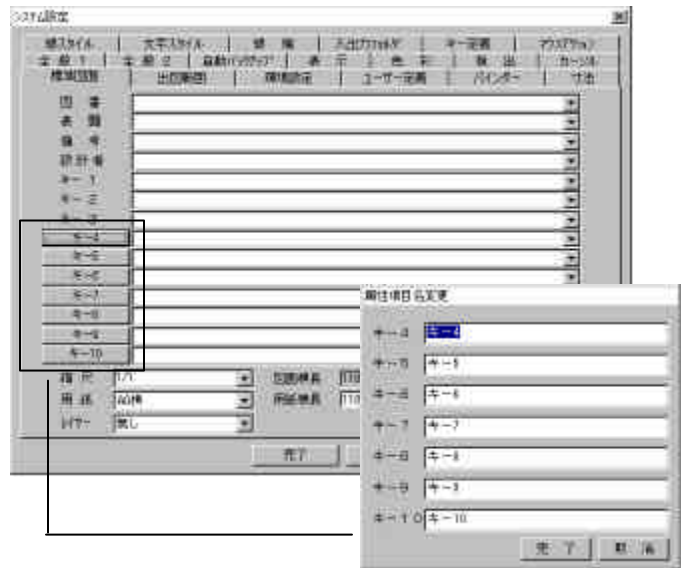
図面属性として入力した文字列は、履歴として保存されます。マウス右ボタンでクリックすると、履歴削除用のダイアログボックスが開きます。旧バージョンで、共有化されていた入力履歴は、バインダー、図面、部品毎に保持されます。



31.標準図面設定

図面属性のユーザー定義属性名を設定することができます。

【補助/システム設定/標準図面】**ファイル/図面属性変更**】



- ・ユーザー定義属性名は、図面単位に保存されます。
- ・ユーザー定義属性名は、ファイルに保存されますので、他の環境でその図面を開いても、同じ属性名が表示されます。
- ・ユーザー定義属性名は、図面属性変更で変更ができます。
- ・ユーザー定義属性の付いた図面を旧バージョンで読み込んだ場合、表示されません(保持はしています)。旧バージョンで上書きした保存場合でもユーザー定義属性名は、保持されています。対応バージョンで読み込むと元のままユーザー定義属性を表示します。

32.バインダー属性

名称と管理No.の順序を入れ替え、管理No.、名称の順に変更しました。また、入力できる文字数を増やしました。バインダー属性には、ユーザー定義属性の追加はありません。

【ファイル/バインダー属性】

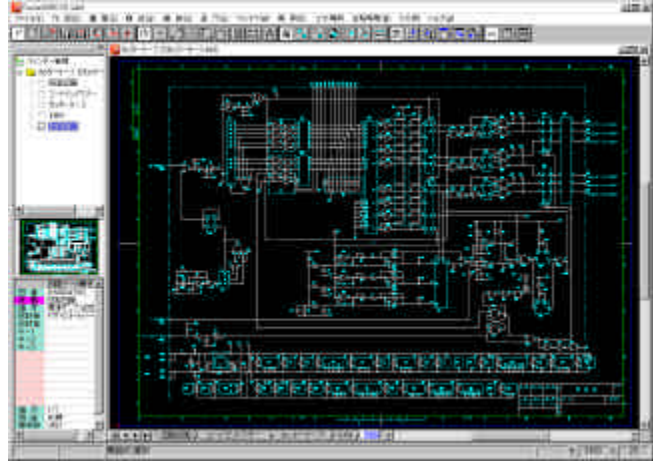
管理No.	...	全角15文字 (半角31文字)	
名称	...	全角127文字 (半角255文字)	拡張
備考	...	全角127文字 (半角255文字)	拡張
設計者名	...	全角127文字 (半角255文字)	拡張
改訂者名	...	全角127文字 (半角255文字)	拡張
キー1~3	...	全角15文字 (半角31文字)	

33. ツールビュー

バインダーで複数の図面シートを扱う際に、より使いやすくするため、本バージョンより ツールビュー機能を搭載しました。ツールビュー型と従来のバインダー編集型の切替は、[補助/システム設定/バインダー]で行います。

詳細は、オンラインマニュアルを参照ください。

【基本操作1/ツールビュー】



3桁ENDで起動



—— ツールビュー表示固定切替

—— バインダー一覧表示エリア
ポップアップメニューで機能分岐



—— オーバービュー

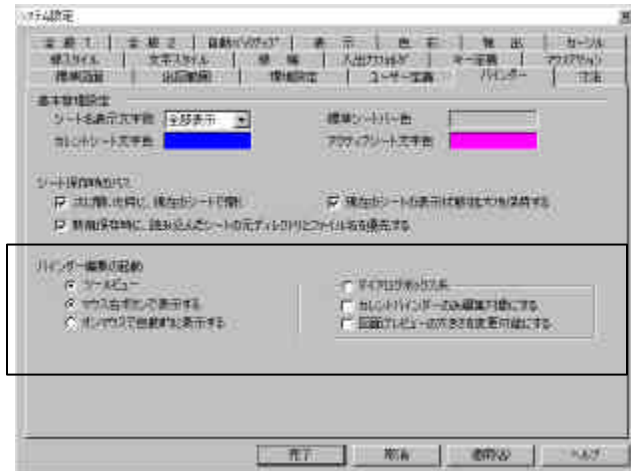
—— 図面シート属性表示エリア
図面属性変更へジャンプ

34. バインダー設定

新しいツールビュー型と従来のバインダー編集型の切替を【補助/システム設定/バインダー】で設定します。

ツールビューは、ランチャー型のウィンドウ左端にマウスがくると自動表示するタイプと、右ボタンで任意に起動するタイプを選択できます。

【補助/システム設定/バインダー】

35. SXFフォーマット
ラスターデータ

従来版では、SXFに添付されたラスターデータを読み込むことができませんでしたが、Ver.4よりラスターデータの読み込みが可能になりました。

読み込めるラスターデータは、1枚のみです。

ラスターデータは、本システムが読み込める形式のデータであることが条件です。

36.DXF/DWG入力

AutoCAD2004形式のデータフォーマットに対応
AutoCAD2004より DXF/DWGの内部構造が大きく変わりました。このため、従来型の入力プログラムでは、2004形式のデータを読み込むことができません。

Ver.6 AutoCAD2004形式に対応した最新のOpen Design Allianceのライブラリを使用することにより、2004形式の入力が可能になりました。

マルチテキスト読込強化

マルチテキストとは、複数行の文字列を持ち、文字列の部分的なフォントや色彩、サイズを自由に変更できる拡張された文字列です。本システムでは、複数行の文字列や文字列の部分的なフォントや色彩・サイズが指定できないため、全体をグループ化して入力されます。グループを分解すると、それぞれの単位の文字列(行/フォント/サイズ/色彩の切れ目)に分解されます。

プロキシ・オブジェクトデータに対応

AutoCADのアプリケーションで作成されたプロキシ・オブジェクトデータの読込を可能にしました。

プロキシ・オブジェクトデータとは、AutoCADのアプリケーションが作成する要素群で、図形要素と属性データからなります。例えば、機械設計用のアプリケーションの「切断線」オブジェクトなど多種にわたります。

ハッチングデータのグループ化

従来版では、ハッチングデータは、個別要素に分解されて入力されましたが、本バージョンよりハッチングは、グループ化されたデータとして入力されるようになりました。

属性定義を持つ一般文字 (ATTRB) の読込強化

属性定義を持つ一般文字とは、表記文字列とは別に属性定義内容をもつ文字列です。属性内容を変更することにより、図面に作図された文字列を一気に変更することができます。

DWG プレビュー 読込速度 アップ

DWGファイルでプレビュー画像がある場合、従来も表示していましたが、プレビュー画像の読込速度を大幅に向上しました。

【ファイル/外部入力/DXF/DWG入力】

37.PDF/TIFF/XCDF出力 図面データを、PDFファイルまたはTIFFファイル、もしくはXCDFファイルに出力します。

IMGPrinter この機能は、本システムが提供する印刷ドライバ (IMGPrinter アイエムジープリンタ)として機能し、出図のダイアログボックスから専用のドライバを指定することにより出力します。このため、他の外部出力のようなコマンドはなく、出図コマンドから出力します。

操作の詳細は、オンラインマニュアル【ファイル/外部出力/PDF・TIFF・XCDF出力】を参照ください。

注意・制限事項

・本システムに付属のPDF/TIFF/XCDF出力ドライバーは、本システムで出図する場合にのみ機能し、以外のアプリケーションから指定しても出力はできません。
 ・本バージョンでは、IMGPrinterがインストールできるOSは、NT系 (NT,2000,XP)のみとなります。98系 (95,98,ME)のOSにはインストールできません。ご注意ください。
 ・本バージョンは、連続出力には未対応です。

PDFファイル PDFファイルは、閲覧と印刷のためのフォーマットで、アドビ社の登録商標です。PDFファイルは、そのドキュメントを作成したアプリケーションがなくても、ほぼ同一の品質でそのドキュメントを閲覧したり、印刷することができ、世界中で使用されています。PDFに出力するPDFライターは有償ですが、本バージョンのIMGPrinterを使用することにより、PDF Wrighterを必要とせず、PDFファイルを生成します。閲覧と印刷をおこなうPDF用のビューア (PDFリーダー)は、アドビ社から無償配布されています。拡張子は、*.pdfとなり、サイズは元ファイルに比較して小さくなります。

TIFF ファイル

TIFFファイルは、Tag Image File Formatの略で画像系のファイルフォーマットです。WindowsとMacの両方で使用できるファイル形式です。画像系のファイルとしては、JPEGに続き一般的なファイル形式です。高画質で保存でき、異なるOS間でのデータのやり取りができます。フルカラーで保存するとファイルサイズが大きくなります。本システムのラスターオプションを使用すると、TIFFファイルをCADの図面の中に読み込むみ、ベクターと合わせて表示することができます。拡張子は、*.tifとなります。

XCDF ファイル

XCDFファイルは、閲覧と印刷のためのフォーマットで、ナレッジオートメーション社 (弊社の関連会社)の登録商標です。XCDFファイルは、PDFファイルと同じように、そのドキュメントを作成したアプリケーションがなくても、ほぼ同一の品質でそのドキュメントを閲覧したり、印刷することができます。XCDFファイルを閲覧するビューアは、ナレッジオートメーション社より無償配布されています。拡張子は、*.xcdfとなります。【ファイル/外部出力/PDF・TIFF・XCDF出力】

38.部品属性

部品保存の部品属性で、図番、表題、備考、設計者名で入力できる文字数を拡張しました。キー1～3は従来のままです。キー4～10としてユーザー定義属性を増やしました。図面属性を参照してください。旧バージョンで読込、上書きも可能です。

【ファイル/ 部品保存/ 図面属性定義】

図番	...	全角15文字 (半角31文字)	
表題	...	全角127文字 (半角255文字)	拡張
備考	...	全角127文字 (半角255文字)	拡張
設計者名	...	全角127文字 (半角255文字)	拡張
改訂者名	...	全角127文字 (半角255文字)	拡張
キー1～3	...	全角15文字 (半角31文字)	
キー4～10	...	無制限	新規追加

部品属性変更	
項目	属性内容
図番	A-656
表題	ALS切断機 カッター
備考	
設計者	デザインオートメーション
改訂者	
キー1	
キー2	
キー3	
購入	資材と調整
手配	2004年3月25日まで
マニユ...	
検査	

編集時間 0時間 0分 0秒 合計編集時間 0時間 34分 27秒

登録日 2004/3/23 前回登録日 2004/3/23 初版登録日 2004/3/23

改版数 0回

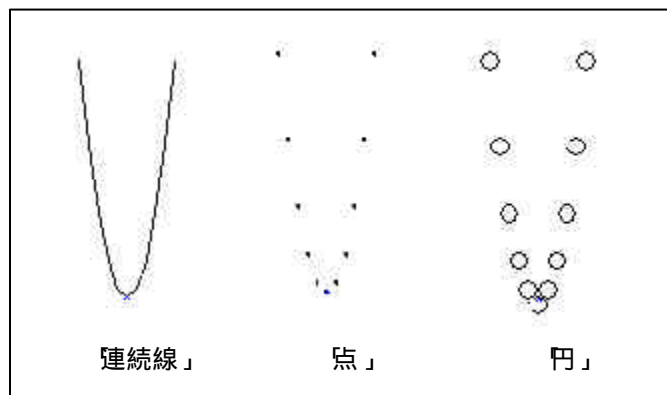
拡張属性 完了 取消

39.エクセル連動

エクセルファイルとCADPACを連動し、エクセルデータから作図、またはCADPACで作図したデータをエクセルファイルとして出力します。点列入力と、点列出力の2つのコマンドからなります。

点列入力 エクセルで作成したXY値を座標値として読み、CADPACの作図画面に「点」か「円」または「連続線」を作図します
作図データにはリンク情報が組み込まれていますので、「リンク」コマンドでエクセル元データを開くことができます。
【編集/エクセル連動/点列入力】

点列出力 CADPACで作図した「点」「円」ポリライン(連続線)」要素からXY座標値と選択要素の属性を抽出しエクセルへ出力します。
出力されたエクセルファイルは「エクセル連動 - 点列入力」のデータとして使用できます。。
【編集/エクセル連動/点列出力】



40. 枠選択CSB

枠選択CSBに、一般コマンドと同様な「前回値」固定値」のボタンを追加しました。



枠選択で始点・終点の端交点検出をするしないの設定を追加しました。【補助/システム設定/検出】

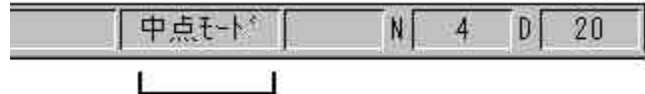


41. 検出ツールバーアイコン 検出のツールバーアイコンに、端点/交点/中心/4分点を追加しました。



追加分

下段のメッセージ欄に検出モードを表示するエリアを追加しました。



42. マウスアクション

前回コマンドのリスから、同一コマンドの場合は、表示しないように変更しました。



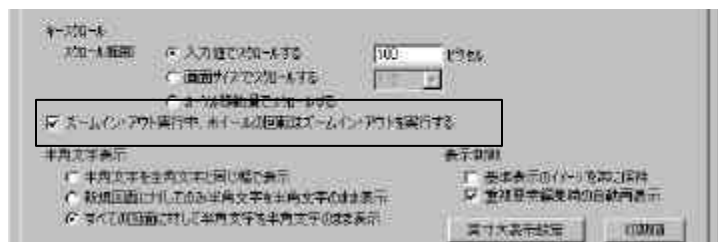
43. マウスホイール

マウスホイールの機能をユーザー設定できるようにしました。
【補助/ システム設定/ キー定義】



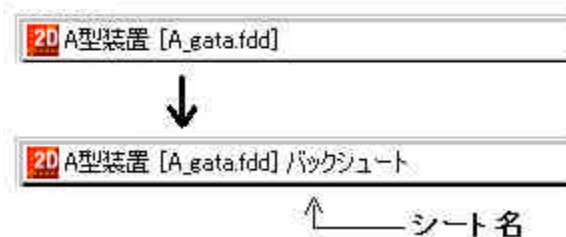
ズームイン/アウト実行中、マウスホイールの回転機能をズームイン/アウトに設定する機能を追加しました。

【補助/ システム設定/ 表示】

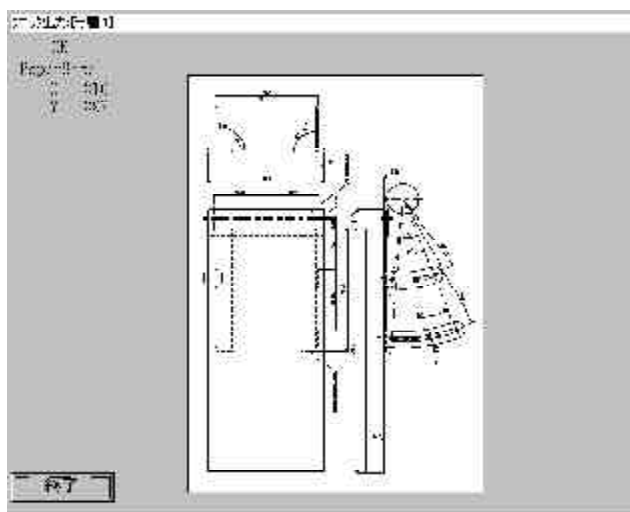
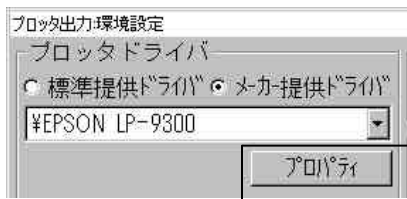


44. ウィンドウタイトル

バインダー図面で、複数シートがある場合、ウィンドウタイトルにシート名を表示するようにしました。シート名は、バインダータブで表示設定された名称です。【基本操作/バインダー】

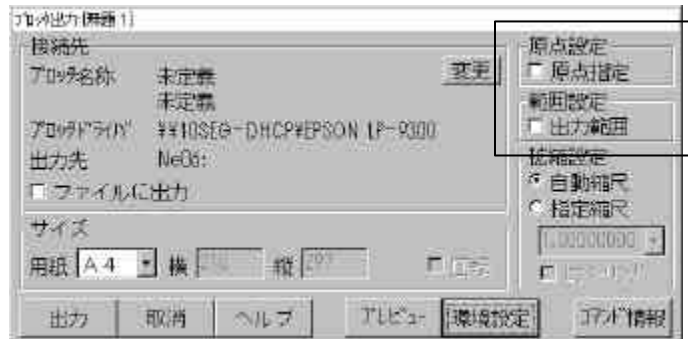
45. 出図
縦方向プレビュー

メーカードライバーのプロパティで、用紙縦横方向を設定した場合、出図プレビューに連動させました。



設定保持

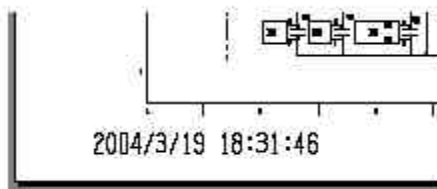
出図範囲や原点・指定縮尺などを設定した後、プロッタの変更をした場合、設定がクアになってしまうので保持出来るようにしました。
【ファイル/ 出図】



出力日付

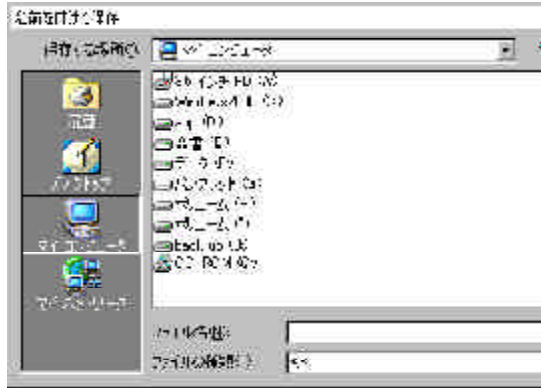
図面の所定の位置に出力した日付を印字する機能を追加しました。

【環境設定】 拡張設定 から出力日付のチェックをオンにします。



ファイル出力

出図データをファイル出力する際に、保存先のダイアログボックスを表示し、指定できるようにしました。【ファイル/出図】



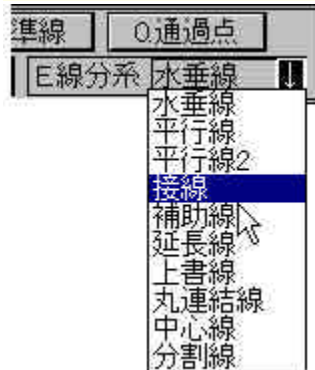
ラスター出力

ラスター上に塗潰し図形を作図した場合、通常要素、塗りつぶしとラスター」の出力順の切り替えスイッチをつけました。【ファイル/出図】



46.線分

CSBに関連コマンドとして線分系のコマンドすべてを選択できるプルボックスを追加しました。【作図/直線/線分】



47.円と円弧

CSBに関連コマンドとして円系のコマンドすべてを選択できるプルボックスを追加しました。【作図/曲線/円/円弧】



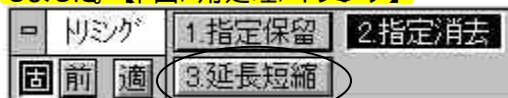
48.延長短縮

CSBに関連コマンドとしてトリミングへジャンプするボタンを追加しました。【編集/変更/延長短縮】



49.トリミング

CSBに関連コマンドとして延長短縮へジャンプするボタンを追加しました。【作図/角処理/トリミング】



50.注釈

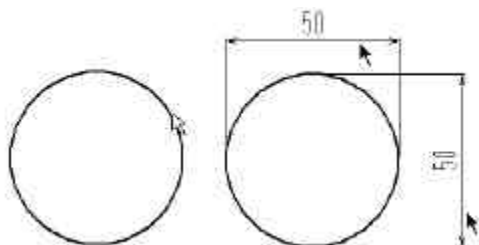
CSBに関連コマンドとして機械オプションの注釈系コマンドへジャンプするボタンを追加しました。【作図/文字記入/注釈】



51. 平行寸法

自動モードの場合、円要素を指定することにより、直径を取得し、水平寸法または垂直寸法として作図します。

【作図/ 寸法/ 平行寸法】



52. Bスプライン円弧補間



Bスプラインで作図された曲線を円弧近似するコマンドを追加しました。【作図/ 曲線/ Bスプライン円弧補間】



53. 文字と注釈

文字列の参照で、他のウィンドウにある文字列も参照の対象にしました。【作図/ 文字記入/ 文字 注釈】

54. 円

設定に中心線のみをグループ化するモードを追加しました。この場合、円編集で十字は追従しません。

【作図/ 曲線/ 円】

- マウス座標の表示
- 円と十字をグループ化 (十字の編集可能)
- 十字のみグループ化 (十字の編集不可能)
- 最上面の隠線順位で十字を作成する

55. 寸法変更

直径・半径寸の寸法変更で、ポップアップメニューを中止し、ダイレクトに編集ができるようにしました。削除する場合は、**[DEL]**キーで削除します。【作図/ 寸法/ 寸法変更】

56. 重複線消去

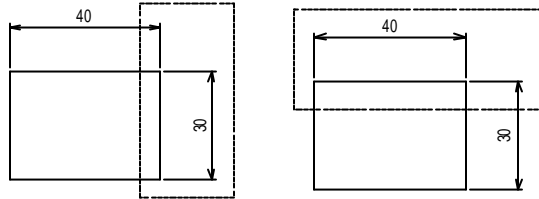
同一グループ内の重複線、およびBスプラインが完全に一意する場合、重複線処理の対象にしました。

【編集/ 消去/ 重複線消去】

57.変形

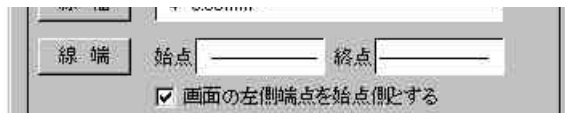
平行寸法と同様に、自動モードを追加し、垂直と水平をボタン切り替えなしに自由に変形できるようにしました。

【編集 / 変更 / 変形】



58..線円スタイル

線円スタイル変更で線端スタイルを片方に付加する際、要素（線分）のどちらに線端を付加するかが判るようにしました。



グループ単位の検出も可能にしました。

枠選択CSBのスタイルボタンを拡張し、グループ単体で選択できるようにしました。【編集 / スタイル / 線円スタイル】



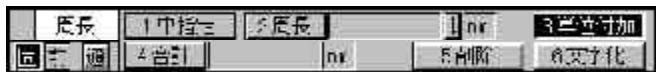
59. ツールビュー

ツールビューでフォルダグループにコメント入力できるようしました。起動のダイレクトキーで **[V]** (small) を標準としました。



60.. 計測コマンド単位付加

計測した値を文字化する時に単位を表示するかどうかの **単位付加** ボタンを追加しました。ボタンを追加したのは以下の計測系コマンドです。距離・角度・周長・面積・重量
【補助/計測/計測系コマンド】



61.. 部分スタイル

現在の右パネルの線スタイルにセットする **線属性** ボタンを追加しました。

【変更/スタイル/部分スタイル】



62.文字位置編集

【OF値取得】のボタンを追加し、文字を検出した際、作図された時の縦間隔値・横間隔値の数値を取得するかしないかを設定できるようにしました。【作図/文字編集/文字位置】

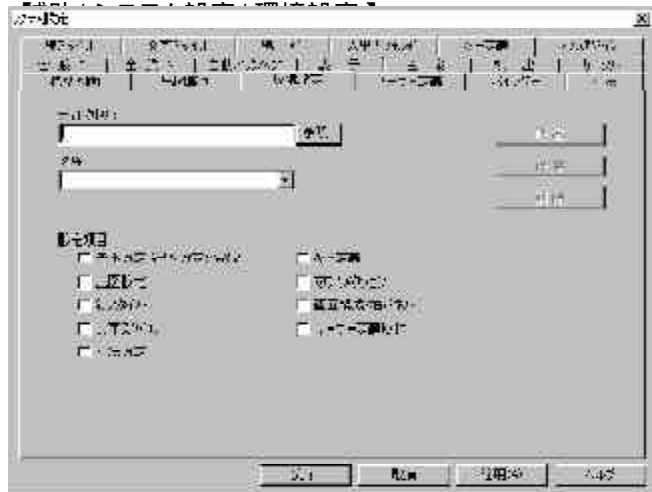


63.環境設定

補助/システム設定/環境設定で、保存した設定項目を呼び出す際に、バージョンチェックをするようにしました。

バージョンが異なる場合、警告ダイアログボックスを表示します。

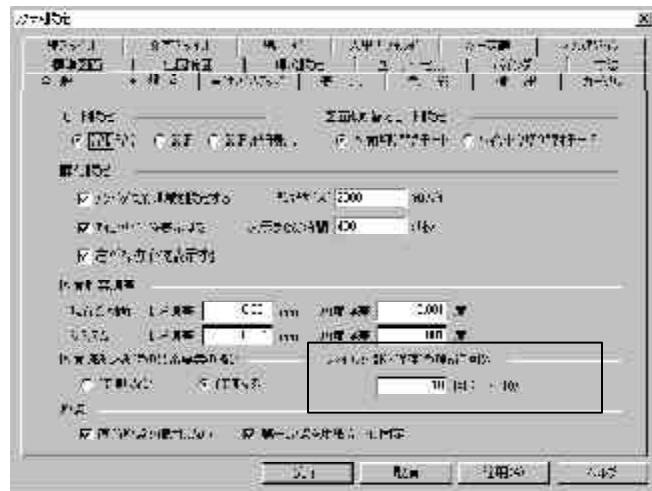
そのまま強行して利用することも可能ですが、メニューなどが整合性が取れなくなる場合があります。



64. ファイル開く 試行回数

試行回数は、本システムでネットワーク上の図面ファイルを開こうとした時に、その図面がすでに開かれているかどうかのチェックの回数です。初期値は10です。

その図面が既に他のユーザーによって開かれていて「編集モード」で開けない場合、参照モードで開くよう確認のメッセージボックスが表示されます。チェック回数が多いと、この確認のメッセージボックスが表示されるまでに時間がかかる場合があります。このような場合は、チェック回数をもっと少なく設定することにより、応答性が改善されます。【ファイル/開く】



65. ファイル開く

図面開くのダイアログボックスで、拡張子が指定されている場合、ファイル名を直接入力した際、拡張子を入力しなくても、ファイルを指定できるようにしました。

拡張子の種別が、2Dfilesの場合は、FDDを対象拡張子とします

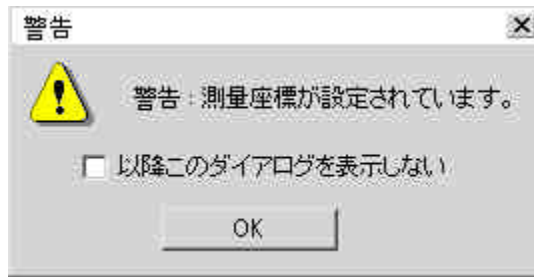


また、先にファイル名を入力し、その後にフォルダリスからディレクトリを移動しても、ファイルを消えないようにしました。

【ファイル/開く】

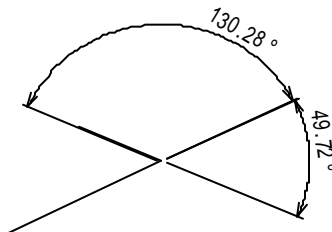
66.複写・移動
測量座標警告

設定に [測量座標時に警告する] のチェックを追加しました。
チェックオンにすると、土木共通 - 幾何線形 - 座標設定にて座標を設定したあと、複写・移動を選択すると、下記のダイアログボックスが表示されます。 [以後、このダイアログボックスを表示しない] にチェックすると、警告ダイアログボックスは表示されません。
【編集/複写/移動/設定】



67.寸法変更

寸法の引き出し線を検出して作図した角度寸法の寸法変更に対応しました。
平行寸法/設定/文字自動回避OFFで作図した寸法は寸法変更の際も文字自動回避しないようにしました。
【作図/寸法/寸法変更】



68.文字列編集

文字入力ボックスを常に前回位置に表示するようにしました。
【作図/文字編集/文字列編集】

69.長方形

CSB基点のリス表示をスクロールせずにすべて表示するようにしました。
【作図/定型/長方形】

70.グリッド設定

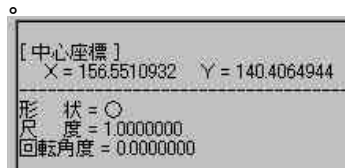
右パネルのモード設定の[G]で表示されているグリッド設定を、補助/設定/キー定義]できるようにしました。ダイレクトキーの登録が可能です。
【補助/設定/キー定義】

71.レイヤー分解

レイヤー分解の時、図形とレイヤー名称が重なってしまい名称が確認できないため、背景を抜いて重ならないようにしました。
【基本操作/レイヤー/】

- 72.レイヤー操作 レイヤー分解画面の各ウィンドウやレイヤーパターン登録画面で、表記を"数値B 数値L" に統一しました。
【基本操作/ レイヤー/ レイヤー操作】
- 73.FDDファイルのFTP FDDファイルをFTPから開くと保存ができるようにしました。
【ファイル/開く】
- 74.CAD製図基準 コマンド 新規に20工種を追加しました。
【構成/SXF/CAD製図基準/工種選択】

- 75.要素計測 点要素の場合、形状」をビジュアルに表示するようにしました



- 76.ユーザー定義 補助/ システム設定/ ユーザー定義で、新規図面に反映」のチェックオンをデフォルトにしました。
【補助/ システム設定/ ユーザー定義】
- 77.土木基本/ 縦断計画 土木基本の縦断計画にある 縦横変倍」を他のコマンドに同一名称があり、XY異縮尺」に変更しました。
【土木共通/ 縦断計画/XY異縮尺】

Ver.4.5.新機能

78. ラスターライト

カラーラスターに対応しました。

【オプション/ ラスター】

読み込めるラスターデータ

本システムでは、ラスターライトオプションまたは、ラスター オプションを付加することにより ラスターデータを図面ファイルに展開することができます。読み込めるラスターファイルは、以下の通りです。

CG4 汎用モノクロ画像ファイル
 TIF 汎用モノクロ/ カラー画像ファイル
 JPG 汎用圧縮型カラー画像ファイル
 BMP マイクロソフト社 非圧縮型カラー画像ファイル
 PNG マイクロソフト社 圧縮型カラー画像ファイル
 PSD アドビ社Photoshopファイル
 MMR クラボース社画像ファイル

ラスターデータの枚数

本システムでは、ラスターデータは、1枚のみ展開することができます。バインダー形式の場合は、各シートに対して1枚ずつ展開できます。

ラスターデータの編集

本システムでは、カラーラスターデータの編集は、プルダウンメニューの【変更系コマンド】の【サイズ】と【配置】のみ可能です。
 モノクロラスターの場合は、プルダウンメニューにあるすべての編集コマンドが使用できます。

ラスターデータの保存

大きなサイズのカラーラスターを展開し、保存する場合の設定と注意事項をまとめます。
 プルダウンメニュー【変更/ 設定】で指定します。

保存設定

ラスターデータを含む図面を保存する際の、ラスターデータの処理を設定することができます。
 大きなサイズのカラーラスターを配置した場合、図面ファイルのサイズが大きくなります。ご使用のパソコンの環境によっては、入出力に時間がかかる場合がありますのでご注意ください。

図面に埋め込む

本システムの図面ファイルに、ラスターデータも含めて保存します。

図面と同じ名称で保存する

本システムの図面ファイルとは別に、ラスターデータのみを別ファイルで保存します。保存されるディレクトリは、図面ファイルと同じディレクトリ 同じファイル名 (拡張子は指定型)で保存されます。

【例】

図面ファイルを [yamada.fdc] で保存した場合、ラスターデータは、[yamada.fdc.jpg] となり 本システムの図面拡張子が付加されます。

図面ファイルを [yamada.fdd] で保存した場合、シートごとのラスターデータは、[yamada.fdd.1.jpg][yamada.fdd.2.jpg]となり 本システムの図面拡張子とシート番号が付加されます。

*ラスターの拡張子は、任意指定。

本システムで、再度、この図面ファイルが選択された場合、関連するラスターデータを自動的に読み込み、展開します。

ラスターデータを削除したり 移動してしまった場合、ラスターデータは読み込まずベクトルデータのみを表示します。ラスターデータを 外部入出力/ラスターデータ入力 から再度読み込み配置してください。

高解像度の圧縮型カラーラスター (JPG,PNG,TIFFなど)を図面に展開すると、ラスターデータは元データのサイズよりもさらに大きくなります。数十MBを越えるような高解像度のカラーラスターファイルを配置した場合は、元のラスターデータをリンク形式として、ベクトルファイルとは別に指定することをおすすめします。

フォーマット

上記の設定で、図面と同じ名称で保存する が指定されている場合、ラスターのフォーマット形式を指定します。

【ラスター入力時のフォーマットを使用する】

元データと同じのラスターファイルで保存します。

【フォーマットを指定する】

任意にフォーマットを指定します。指定できる拡張子は以下です。

JPG、BMP、.TIF

ラスターデータの出力

本システムで、大きなサイズの圧縮型のカラーラスター (JPG,PNGなど)を展開するとご使用のパソコンの環境によっては、データ入出力に長時間かかる場合があります。また、このような大規模なラスターを展開した図面をプロッタやプリンタ出力する際にも、Windowsドライバや出力装置の制限により出力できなくなる場合もありますので、ご注意ください。

CADPAC-CIVIL Ver.4

新機能概要

発行日 :2004年410月15 6日

発行 :株式会社デザイン・クエーション

〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-19-18武蔵野センタービル
TEL.0422-37-3380 FAX.0422-37-3381

ホームページ <http://www.da-net.co.jp/>

CADPAC-CIVIL Ver.4

株式会社デザイン・クリエイション

札幌営業所	TEL.011-757-5890	仙台営業所	TEL.022-719-3663
東京営業所	TEL: 03-5209-8121	名古屋営業所	TEL.052-265-0117
大阪営業所	TEL.06-6222-7175	福岡営業所	TEL.092-415-2320

<http://www.dcrea.co.jp>